

男女共同参画情報誌

# あなたとわたし

vol.55

性別や年齢、国籍などの違いを超え、平等にともに手を携える関係でありたいから



福生市役所では、9月27日(水)に市長および全管理職が「イクボス・ケアボス宣言」を行いました!

## 「福生市イクボス・ケアボス宣言」 (抜粋)

1. 職員が育児、介護など、家庭と仕事の両立ができるよう、支援制度を活用する職員を応援します。
2. 「働き方改革」を推進し、業務の効率化や進め方の改善を図り、時間外勤務の縮減に努めます。
3. 年次有給休暇をはじめ、休暇を取得しやすい職場環境づくりに努めます。
4. 「ワーク・ライフ・バランス」の実現に向け、職員を促すとともに、自らも率先して実践、仕事と生活を楽めます。

特集

# 福生の イクボス・ケアボス

高度経済成長、バブル景気、リーマンショック等、時代と共に、  
働くスタイル、生活スタイルも変化していきました。

今の働き方に問題はないの？

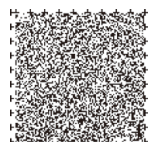
家庭を顧みる時間はあるの？

自分自身、部下の一人ひとりの

ワーク・ライフ・バランスを考えてみましょう。



目の不自由な方への情報ツールとして開発された二次元シンボル「SPコード」を掲載しています。  
専用の読み取り装置を使って、今号の内容を要約した文字情報を音声で聞くことができます。  
専用の読み取り装置は、市内の公共施設9か所に設置しています。くわしくは協働推進課へお問い合わせください。



教えて!

# 「イクボス」「ケアボス」

## って何?

最近、よく聞く「イクボス」「ケアボス」という言葉。その本当の意味を知っていますか? 今なぜ必要なの? 福生市はどうか? 気になること、まとめてみました!

### 意味は?

「イクボス」とは、部下の育児参加に理解があり積極的に支援する上司のこと。  
「ケアボス」とは、部下の介護参加に理解があり積極的に支援する上司のこと。  
どちらも、職場で共に働く部下のワーク・ライフ・バランス(仕事と生活の両立)を考え、その人のキャリアと人生を応援しながら、組織の業績と結果を出し、自らも仕事と生活を楽しむことができる上司(経営者・管理職)です。



テレビやニュースなどで「働き方改革」が叫ばれる今日のごろ、仕事をしながら積極的に育児にも関わりたい子育て世代の男性が増えたにも関わらず、定時退社や育児休暇取得などの職場環境の整備は進んでいないのが現状です。ワーク・ライフ・バランス、女性の活躍推進、長時間労働の是正などの取り組みを妨げないように、上司の意識改革(固定化した価値観、仕事のやり方、男女の役割意識を変えること)が、求められています。

### なぜ、今必要なの?

厚生労働省をはじめ、中央省庁、自治体、団体、企業などが宣言しています。厚生労働省では、調査を行い、結果をwebサイト(<http://www.mhlw.go.jp/ikubosu/>)で公表しています。

(別参照サイト:イクボスドットコム<http://ikuboss.com/>)

### どんなところが宣言しているの?

### ところで、福生市は?

福生市役所では、9月27日(水)に市長をはじめ、副市長、教育長および全管理職が「イクボス・ケアボス宣言」をしました(西多摩初の取り組みです!4ページ参照)。今日的な課題として、介護やダブルケア(育児と介護の同時進行状況)と仕事の両立が求められるため「ケアボス」も同時に宣言しました。





# わがまち

福生の

# イクボス・ケアボス

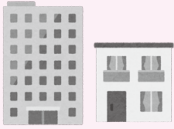
国民の仕事と生活の調和の実現を目指し、

平成19年12月、「仕事と生活の調和(ワーク・ライフ・バランス)憲章」が策定され、約10年。

実際にこの取組を進めていくには、なかなか難しい面もありますが、

そのような中でも、ワーク・ライフ・バランスに積極的に取り組んで頑張っている市内の事業所に、

イクボス・ケアボスを探しに行ってきました。



FILE NO.1

武陽ガス 株式会社

子育て中の社員多数! 半休制度も活用しています

福生市を中心に多摩地域の4市2町で「都市ガス事業」を展開。産休・育休後、復帰する社員も多く、半休制度を新設し、子育て中の社員にも柔軟で働きやすい環境をつくっています。

上司のどんなところがイクボス?

家族(お子さんと奥さん)を大切にしているところ。言葉だけでなく、父親としてできることは何でもやろうという姿勢が感じられます。お子さんにプールで泳ぎを教えたり、家庭でも子育ての役割分担をしているようです。

上司がイクボスで助かったことは?

小学生の子を持つ同僚と、子どもの行事が重なり、上司に相談したところ、どちらかに断念させるのではなく、「どうにかするよ」と、他の同僚に協力するよう声をかけていただきました。子どもの行事は一つ一つが大切なので、そこを汲み取ってもらい感謝しています。



部下 営業開発部 営業開発課 小澤 祥子さん

おざわ しょうこ

上司より 以前は小さい子を保育園等に預けることにやや否定的な考えでしたが、今はそういう世の中ではなく、弊社でも産休・育休制度を利用し職場復帰する人も増えました。私自身も含め、子を持つ職員も多く、家族の支え、子どもの笑顔があってこそ仕事が頑張れると思っています。



上司 営業開発部 営業開発課 課長 藤倉 良之さん

ふじくら りょうじ

FILE NO.2

株式会社 大多摩ハム小林商会

困った時は、お互い職場でフォローし合います

創業以来守り続けているドイツ式製法を用いて、地域資源の活用や無添加製品等を展開するハムメーカー。産休・育休制度も整っており、女性の活躍の場を広げています。

上司のどんなところがイクボス・ケアボス?

遅番のときは、午前中を趣味の時間に。そして、毎年夏には家族と過ごす休暇も取っており、家族思いの上司です。人柄が良く穏やかなので、話しやすく仕事の提案もしやすく、何でも話しやすい上司です。

上司がイクボス・ケアボスで助かったことは?

家族が長期入院した時、病院から呼び出しがあるたびに「仕事のことはいいから行ってこい」と声を掛けてもらい、家族の看病に専念することができました。子どもが急病のときも同様でした。現在は、子どもを第一に考えた生活ができ、同時に仕事にも集中することができています。



部下 渡辺 加織さん

わたなべ かおり

上司より 昨年、自身の父親が病気で亡くなりましたが、遠い田舎のため、年に何回か休暇をいただき、そのつど他のスタッフに助けられました。いざという時は、誰でも心配なく休めるよう、今後もしっかりとバックアップ態勢をとっていきたいと思います。



上司 マネージャー 菊池 秀行さん

きくち ひでゆき

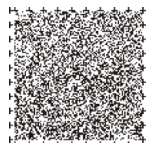
取材を終えて

どちらも地域と社員をととても大切にしている会社だと感じました。家庭が安定しているから仕事も頑張れて、個人のモチベーション向上にもつながるのでしょう。そのためには、制度の整備も大事ですが、ボスが醸し出す職場の雰囲気も大切だと思いました。

目の不自由な方への情報ツールとして開発された二次元シンボル「SPコード」を掲載しています。

専用の読み取り装置を使って、今号の内容を要約した文字情報を音声で聞くことができます。

専用の読み取り装置は、市内の公共施設9か所に設置しています。くわしくは協働推進課へお問い合わせください。



取材しました

# 西多摩初! 「福生市イクボス・ケアボス宣言」

平成29年9月27日(水)、市長をはじめ全管理職54人が、  
仕事と生活の調和(ワーク・ライフ・バランス)の実現を目指して「イクボス・ケアボスを宣言」を行いました。

午後1時30分、宣言式がスタート。市長、副市長、教育長、部長職の職員が、自ら仕事と私生活を充実させ、子育てや介護がしやすく、働きやすい職場づくりに率先して取り組むことを宣言しました。

宣言式の後、講師にNPO法人ファザーリング・ジャパン理事の<sup>こうそと</sup>高祖常子氏を迎え、  
「働き方改革は生き方改革」―「イクボス・ケアボスのすすめ」をテーマに研修会が実施されました。講演で印象に残ったのは「3.16」「81.8」という数字で、これは、平成28年度の男女の育児休業取得率で「3.16」は男性の「81.8」は女性のパーセンテージです。

法律や制度ができて、職場の雰囲気・風土の改革なしには数値の伸びは期待出来ないそうです。働き方を変えるには、長時間労働の是正が第一です。住民ニーズが多様化する中、一人ひとりのモチベーションと能力、生産性の向上のため、誰もが能力を発揮して活躍できる職場づくりが求められています。宣言も大事ですが、その後はもっと大事です。福生市役所の今後に期待します!



イクボス・ケアボス宣言文



研修会の様子



詳しくは後日発行される  
「広報ふっさ」をご覧ください!

ご参加ください!

- 2月3日(土) 午後1時30分～ さくら会館3階ホール  
男女共同参画セミナー「私たちが今、地域でできること～考えてみよう避難所運営～」
- 2月4日(日) 午後1時30分～ 市民会館・公民館 第4・5集会室(3階)  
男女共同参画フォーラム「CMに登場する女と男、その姿 好き?」

## 編集後記

毎号テーマを決めた後は、日常生活においてもテーマを意識してしまいます。この誌面を読まれた皆さんはいかががでしょうか。(田中)

二社への取材では、働きやすい職場づくりのヒントになるお話を楽しく伺うことができ、有意義な一時となりました。(宮野)

## 編集員を募集しています!

編集に興味がある方、何かやってみたい方!  
お待ちしております!(無償ボランティアになります)  
ご意見、情報もお待ちしております!

【問合せ】  
福生市生活環境部  
協働推進課:宮野まで!

042-551-1590

広告を募集しています! 次号は3月発行予定です(全戸配布)

「あなたとわたし」に掲載する広告を募集しています。

【規格】 4.5センチ×9センチ。各号2枠

【広告料】 1枠:15,000円

※申込み用紙は、市のホームページからダウンロードできます。内容により広告掲載できない場合がありますので、詳しくはお問い合わせください。

【問合せ】 福生市生活環境部協働推進課 電話042-551-1590

## 市民編集員

○田中直美 ○吉光佳乃

作製:(有)セイビ印刷所 協力:石井栄子(編集)、青木由佳(DTP)

あなたとわたし vol.55 2017年12月発行

発行:福生市生活環境部協働推進課

〒197-8501 東京都福生市本町5番地 電話 042-551-1590

<http://www.city.fussa.tokyo.jp/>